

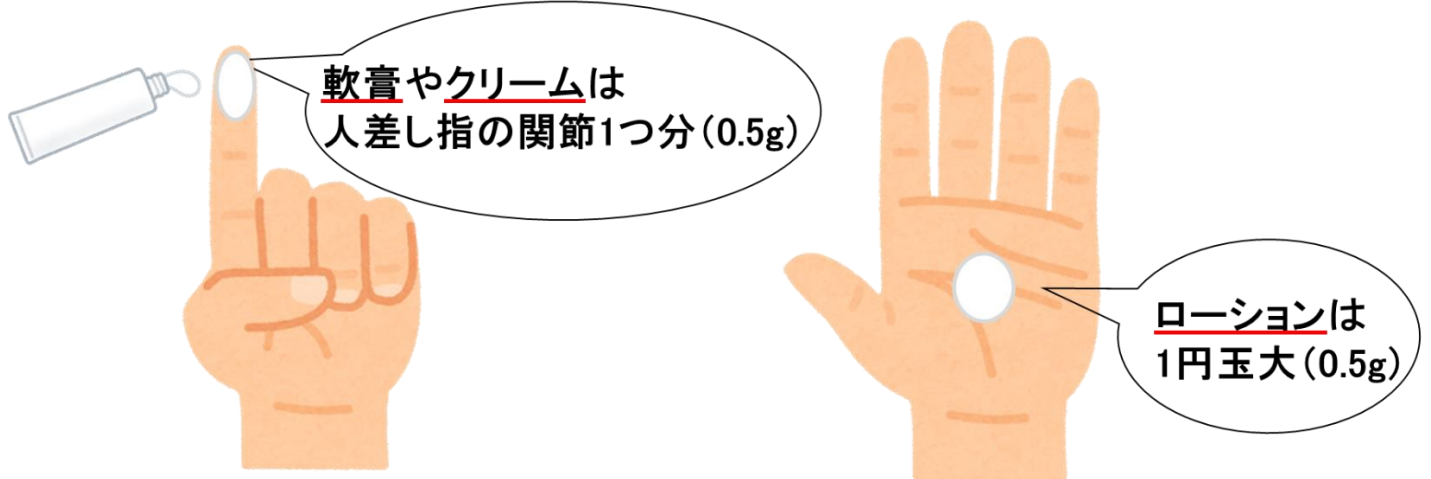
皮膚障害のマネジメント(EGFR チロシンキナーゼ阻害薬)

外用薬の塗布量

外用薬(軟膏)の塗る量を表す単位としてFTU(フィンガーチップユニット)が使用されています。

1FTU(約 0.5g): 大人の手のひら 2 枚分の面積(体表面積の約 2%)に塗るのに適した分量の目安

手のひら『2枚分』の量



外用薬の塗る順番(当院での基本の対応です)

保湿剤・ステロイド剤を使用



ステロイドの塗布部位、塗布方法(当院での基本の対応です)

部位	通常	重篤化した場合
頭皮	ストロング(リンデロン V ローション)	ストロングスト(デルモベートスカルプローション)
顔面	ミディアム(ロコイドクリーム)	ベリーストロング(アンテベート軟膏) ストロングスト(デルモベート軟膏)
体幹・爪	ベリーストロング(アンテベート軟膏)	ストロングスト(デルモベート軟膏)

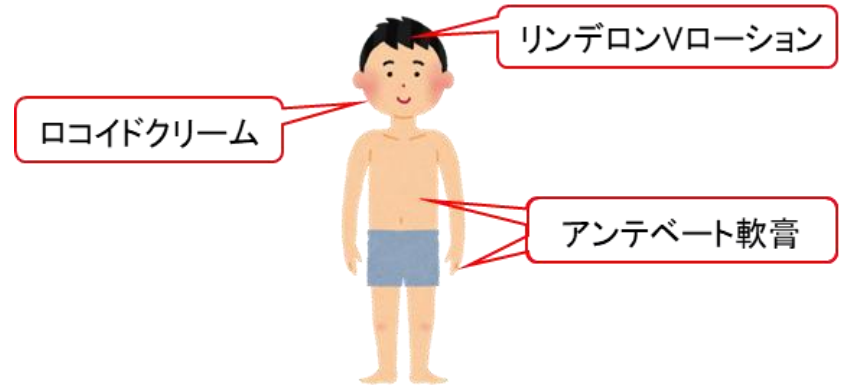
* 当院採用品の関係上、クリーム、軟膏と記載していますが、区別に意味はありません。

○塗布回数

原則 1 日 2 回

○塗布の仕方

ゴシゴシ強くすりこむと、皮膚を傷つけ
バリア機能を低下させることになります。
やさしく塗り広げましょう



○使用量の目安

部位	1 回使用量	1 週間の使用量 (1 日 1 回塗布の場合)	軟膏・クリームの場合	ローションの場合
顔・首	約 1g	約 7g	1～2 本	1 瓶
胸・腹 背中を含む	約 7g	約 49g	10 本	5 瓶
両腕	約 3g	約 21g	4～5 本	2～3 瓶
両手	約 1g	約 7g	1～2 本	1 瓶
両脚	約 6g	約 42g	8～9 本	4～5 瓶
両脚	約 2g	約 14g	3 本	1～2 瓶
全身塗布時 合計	約 20g	約 140g	28 本	14 瓶

ミノサイクリン内服

テトラサイクリン系抗生物質は、抗菌作用以外に、白血球遊走抑制、活性酸素の抑制、炎症性サイトカインの抑制、T 細胞機能抑制といった抗炎症作用を示すとされています。

海外の STEEP¹⁾試験において、パニツムマブ(抗 EGFR 抗体薬)の投与前日から予防治療(毎日起床時に皮膚保湿剤、外出時に日焼け止め、毎日就寝時にステロイド剤[外用]を塗布およびドキシサイクリン 100mg を 1 日 2 回)を行った群では、皮膚障害の発現後に治療を行った群に比べて Grade2 以上の皮膚障害が低下するという報告があります。

当院では、重篤化した場合には、ミノサイクリン(100～200mg、分 1～2)の内服を行う場合があります。

1) Lacouture ME, et al.: J Clin Oncol. 28(8): 1351-1357, 2010

* 重篤化して難治性の場合は、休薬・減量を行い、皮膚科受診を行う場合があります。

院内採用のステロイド外用剤(採用が変更になる場合もあります)

強さ	商品名	外観	備考
ストロングスト	デルモベート軟膏		顔や陰部への使用は避ける (医師の指示がある場合はのぞく)
	デルモベートスカルプ ローション		通常、頭部に使用
ベリー ストロング	アンテベート軟膏		
ストロング	リンデロン VG 軟膏		ゲンタシン(抗生物質)が含まれます
	リンデロン VG クリーム		ゲンタシン(抗生物質)が含まれます
	リンデロン V ローション		
	メサデルムクリーム		
ミディアム	キンダベート軟膏		
	ロコイドクリーム		
ウィーク	オイラックス H クリーム		鎮痒薬が含まれます